

HIO

教区新報

YOG

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
[編集] 兵庫教区広報部



兵庫教区教務所
ホームページ



兵庫教区教務所
facebook

2025. 7 223号

第2土曜仏教講座が 好評開催中

例年、毎月第1土曜日に開催されていた仏教講座が、今季は毎月第2土曜の日程で「兵庫教区での真宗の伝播と発展」と題して開催され、門信徒のみならず、兵庫教区内寺院の寺族からも多くの参加があり、真宗の歴史とその地域的展開について学ぶ連続講座として注目を集めている。ご講師は本願寺史料研究所上級研究員の岡村喜史氏をお招きし、6月14日に開催された第3回では、蓮如上人の馬湯治という講題で講演を頂いた。資料として、文明15年(1483年)蓮如上人が69歳の年に



兵庫教区の成り立ちについての説明

蓮如上人自ら著された『有馬紀行』の19日間の道程と、旧国名が記載されている昔の兵庫県一の帯の地図が配られた。地図には蓮如上人が実際に歩まれた道程が記され、参加者からは「蓮如上人の地域に根ざした布教の歩みがよくわかった」「蓮如上人が歩まれた行程を実際に一緒にさせていただいたようで新鮮だった」といった声が寄せられ、講座の内容に対する関心の高さがうかがえた。

次回(第4回)は7月12日(土)に開催予定で、テーマは「蓮如上人と播磨」。引き続き多くの参加が見込まれている。今後の開催日程や参加費は以下の通り。

<p>参加費</p> <p>各回 1,000円 (申込不要)</p>	<p>第7回</p> <p>12月13日(土)</p> <p>江戸時代の 真宗のひろがり</p>	<p>第6回</p> <p>11月8日(土)</p> <p>石山合戦と摂津・播磨</p>	<p>第5回</p> <p>10月11日(土)</p> <p>英賀坊の創建と 真宗のひろがり</p>
<p>講師</p> <p>おがむら よしじ 岡村 喜史 氏 本願寺史料研究所 上級研究員</p>			



昨年第一子である娘が生まれ、いろいろな方と子どものお話をするようになった。そんな中、ある方から「お子さんかわいいうね。でも今のうちよ。抱っこできるうちに抱っこするときなさいよ。子どもはあつという間に成長するから。すぐに大きくなって抱っこさせたらもえなくなるよ。反抗期になったら一緒におつてもくれんし、喋つてもくれんよ」と言われた。◆その方の実感のこもった言葉に少し寂しさを感じたが、続けてこうもおつしやられた。「でもね。親にも願いがあるもんね。だけど、その願いが煩わしいから子どもは反抗するんやろうけどね」◆親の願いが確かに子どもに届いている。届いているからこそ、その願いに子どもは反抗している。反抗してきた私の元には阿弥陀さまの願いがもうすでに届いていた。反抗期という言葉がほんの少し嬉しく感じられた。

姫路西組 真福寺 津田海

兵庫教区教務所長 就退任のご挨拶

退任のご挨拶

前兵庫教区教務所長
前本願寺神戸別院輪番

まつもと りゆうえい
松本 隆英



慈光照護のもと、兵庫教区内ご寺院の皆さま、ご門徒の皆さまには、益々ご健勝にてご法義相続のこととお慶び申し上げます。平素は、教区運営にご尽力いただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

期間中はご本山での「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をはじめ世界仏教婦人会大会、全国仏教壮年大会などの法要行事に教区内の寺院門信徒の皆さんとともに参加させていただきました。

また昨年の兵庫教区・神戸別院の「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」では約2500名の方にご参拝いただき円成することができました。ご出勤、ご参拝くださった方をはじめ、法要に携わっていただいたすべつの方に改めて御礼申し上げます。50年に一度のご縁に遇えたことをうれしく思っております。

振り返りますと3年2か月前、本願寺での勤務を離れて最初の赴任先が兵庫教区・神戸別院でありました。当初は相当な不安がありました。皆さまのお力添えをいただき、おかげさまで、なんとか過ごすことができました。

一方で、法要を前に教区内8ブロックを巡回させていただいた際には、少子高齢化、核

家族化、一極集中、そしてコロナによる影響を再認識いたしました。しかし、その対応策が具現化できなかったことは私の大きな反省点です。

大震災から30年を迎え、令和大修復工事が始まるタイミングでの異動ということで、私自身も驚いています。どうかこの事業が順調に進んでいくことを願っております。そして、完成後の記念法要が営まれる際にはぜひ、参拝させていただきます。と思っております。

教区内の皆さま、ありがとうございました。ごさいまし



就任のご挨拶

兵庫教区教務所長
本願寺神戸別院輪番

にしもと こうじ
西本 浩二



6月1日付をもちまして兵庫教区教務所長・本願寺神戸別院輪番を拝命いたしました。私は四州教区教務所・本願寺塩屋別院に30年余り奉職し、山口教区教務所長・本願寺山口別院輪番を前職として、このたび兵庫教区へ着任させていただきました。

「阪神・淡路大震災」発生より30年を経過し、本年1月には節目となる30年目の「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」が厳修されたとお聞きしております。また、2月初旬の1週間ほど、ボランティアとして神戸市に來させていだきまして、被災された皆さま、被災された方々には、被災されたまま明日を迎えられず。わが身の無力さを痛感したまま帰途についたことを今でも覚えております。

また、現在の本願寺神戸別院は、ご承知の通り「阪神・淡路大震災」と同年に建立され、30年の歳月により経年劣化が進んでおり、この度「令和大修復工事」として屋根の防水処置、外壁修復、地下駐車場の濾水処置工事が実施されます。教区内ご寺院、ご門徒の皆様には、コロナ禍や過疎化を含む人口減少等により、寺院運営に苦慮される中で新たなご負担をお掛けいたしますこと、お詫び申し上げますとともに、別院が引き続き兵庫教区教化センターとして、伝道教化活動の中心として、また皆様の別院として次代に進んでいきますよう、何卒実情ご賢察いただきご協力賜りますようお願い申し上げます。

「阪神・淡路大震災」発生より30年を経過し、本年1月には節目となる30年目の「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」が厳修されたとお聞きしております。また、2月初旬の1週間ほど、ボランティアとして神戸市に來させていだきまして、被災された皆さま、被災された方々には、被災されたまま明日を迎えられず。わが身の無力さを痛感したまま帰途についたことを今でも覚えております。

このたび、兵庫教区へ赴任させていただきます。大震災より30年を経過した街は復興されていますが、当時被災された方々の心の傷が完全に癒えることは難しく、教区内の皆様のご指導、ご協力を賜りながら、それらの方々ははじめ1人でも多くの有縁・無縁の方々に、阿弥陀如来の智慧と慈悲のお心をお伝えし、先人の皆様が現在まで繋いでこられたお念仏のみ教えを、さらに次代へと繋げていくよう努めてまいりたく思います。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

また、現在の本願寺神戸別院は、ご承知の通り「阪神・淡路大震災」と同年に建立され、30年の歳月により経年劣化が進んでおり、この度「令和大修復工事」として屋根の防水処置、外壁修復、地下駐車場の濾水処置工事が実施されます。教区内ご寺院、ご門徒の皆様には、コロナ禍や過疎化を含む人口減少等により、寺院運営に苦慮される中で新たなご負担をお掛けいたしますこと、お詫び申し上げますとともに、別院が引き続き兵庫教区教化センターとして、伝道教化活動の中心として、また皆様の別院として次代に進んでいきますよう、何卒実情ご賢察いただきご協力賜りますようお願い申し上げます。

教務所からの郵便物が 電子化されます

コミュメール
65%のご寺院が登録済!!

メールアドレスを登録するだけで、
教務所からの書類をWEBサイトで利用できます。
(閲覧・ダウンロード・印刷が可能)



教務所からメールで通知

- 教区内寺院の訃報通知
 - 宗派・教区の情報をも都度に
 - 災害時の安否確認
(※セコムサービスより移行)
 - その他、より情報受け取りやすく
- ※ポスター等はデータではなく今まで通り現物で送付いたします。

届いたURLから
WEBサイトへ移動

過去の書類もいつでも確認!!

書類は自動で日付順に管理!!

スマホ・パソコン
タブレットで利用可能!!

WEBサイト上の書類を
閲覧・ダウンロード・印刷

申し込み方法

下記の教務所のアドレスへ「メール配信登録希望」とお送りください。
メール本文に組名・寺号をご記載ください。

hyogo.kyoku@modan-t.or.jp

※アドレスは一か寺につき
4つまで登録が可能です。

2025年度 兵庫教区一般会計歳計予算

(2025年4月1日~2026年3月31日)

[歳入]

款	項	費 目	2025年度予算額	2024年度予算額	対比△減
1		賦 課 金	68,747,350	68,908,000	△ 160,650
	1	本年度賦課金	68,598,000	68,907,000	△ 309,000
	2	過年度賦課金	149,350	1,000	148,350
2		宗 派 交 付 金	24,050,000	23,450,000	600,000
	1	各種助成金	15,150,000	14,850,000	300,000
	2	地方事務費	8,900,000	8,600,000	300,000
3		願 記 手 数 料	3,500,000	3,700,000	△ 200,000
4		会 費 収 入	1,800,000	3,260,000	△ 1,460,000
5		回 金	530,000	10,420,000	△ 9,890,000
6		雑 収 入	2,527,650	2,522,000	5,650
7		繰 入 金	7,215,000	0	7,215,000
8		繰 越 金	13,300,000	11,400,000	1,900,000
歳 入 合 計			121,670,000	123,660,000	△ 1,990,000

[歳出]

款	項	費 目	2025年度予算額	2024年度予算額	対比△減
1		教 化 事 業 費	36,820,000	38,030,000	△ 1,210,000
	1	実践運動費	33,350,000	34,500,000	△ 1,150,000
	2	組教化助成費	3,470,000	3,530,000	△ 60,000
2		会 議 費	4,070,000	4,070,000	0
3		宗 会 選 挙 費	70,000	300,000	△ 230,000
4		教 務 所 費	69,160,000	71,360,000	△ 2,200,000
	1	職 員 費	62,210,000	64,210,000	△ 2,000,000
	2	事 務 所 費	6,700,000	6,900,000	△ 200,000
	3	災 害 対 策 費	250,000	250,000	0
5		回 金	7,879,850	8,937,100	△ 1,057,250
6		予 備 費	3,670,150	962,900	2,707,250
	1	第 一 予 備 費	1,860,150	520,000	1,340,150
	2	第 二 予 備 費	1,810,000	442,900	1,367,100
歳 出 合 計			121,670,000	123,660,000	△ 1,990,000

笑いあり学びあり

3月29日(土)、兵庫教区仏教青年連盟研修会「学びと笑い」を開催し、約80名が参加した。

第1部の「笑い」は、近畿各地で活躍している吉本お笑いタレント6組が出演し、「近畿住みます芸人」によるお笑いLIVE キンキーズ & GO!GO! を開催。初めてプロの漫才(ネタ)を見た人も多く、終始「笑い」つばなし。後半では、豪華景品を用意してのクイズ大会もあり、大盛り上がりの時間となった。

第2部の「学び」では、小池秀章先生(山口市教證寺)を講師にお招きし、「仏さまは願いを叶えてくれない？」をテーマに講演をいただいた。小池先生の分かりやすいお話



近畿住みます芸人大集合

に参加者は、多に「学び」を深めた。今回の研修会で初めて神戸別院へ足を運ばれた参加者もあり、とても有意義な研修会となった。

兵庫教区仏教青年連盟では、一緒に活動してくれる「なかま」も募集している。活動に興味がある方は教務所までご一報を。

親鸞聖人のご誕生に感謝

初夏を感じる気候となった、5月25日(日)、親鸞聖人のご誕生をお祝いする「宗祖降誕会」をお勤めし、多くの門信徒が参拝した。当日の法要の様子はYouTubeでも配信された。

法要開始の午後2時に併せて堂内には雅楽の音色が響き渡り、厳かな雰囲気の中法要が始まった。法要の初めに門徒推進員の2名の会員が伝供を行い、尊前に紅白餅をお供えした。松本輪番は

表白の中で、「聖人のご誕生の法縁に遇う私たちはいよいよ聞法につとめ、四海皆兄弟と仰せられたご遺訓を体し、同朋互いに敬愛しつつ、報謝の大道



満堂の本堂

を歩み続けます」と決意を改たにした。読経中に参拝者が焼香へと進み、親鸞聖人のご誕生に対して感謝の思いをもつてそれぞれが手を合わせた。

お勤め終了後は、小池秀章師を講師に迎え、ご法話を聴聞し共々に親鸞聖人のご誕生に感謝する法要となった。

第45回全国講社大会

4月14日(月)に京都本山御影堂にて第45回全国講社大会が開催され、約100名の参加者があった。最初に藤實執行長よりご挨拶があり、この度本願寺全国講社連絡会より

五十年のあゆみの記念誌を発刊するにあたり、二十五年前に二十五年のあゆみが発刊された際は参拝部長を務めており、このご縁も誠に感慨深いことで

あったとの紹介があり、コロナ禍が収束した昨今も仏事を以前のように行わないご家庭が増えている中で、講社のみなさまにはご法義を大切に相続され、活動を続けてくださっておられますこと、大変ありがたく、感謝に堪えませんとのお言葉があった。その後、京都東急ホテルにて本願寺全国講社連絡会の総会が開催され、引き続き懇親会が開催された。懇親会の場では、テーブルごとに各講社の紹介があり、近年講社に携わる方も減少しており、各講社も継続が課題である旨発言があった。事務局からも

講社は本山護持のため、これまで支援助いたきてきた。先ずは全国講社大会へ参加していただき、これからも盛り立てて行ってほしい旨、案内があった。



総会の様子

新職員のご案内



ひだか しょうち 日高 証知

四月一日付で日高証知さん(奈良教区高市組称名寺)が、事務職員として入所いたしました。

退職

三月三十一日付で、山内理史副輪番、渡邊顕誓さん(事務職員)が退職いたしました。お世話になりました。

リーフレット 『おぼん』受付中

年3回発行のリーフレット『法』シリーズ。今回のおぼん号は、赤松普宣さん(赤穂北組専稱寺)にご執筆いただきました。一部30円(送料実費)で頒布しております。ご注文は教務所まで。

【教務所】TEL 078-341-5949 FAX 078-341-8526

株式会社 本田商店
 兵庫県姫路市網干区高田361-1
 Tel 079 273 0151
 Fax 079 274 2454
 Mail info@taturiki.com
 http://www.taturiki.com

龍刀 Taturiki

兵庫県姫路の酒蔵「龍力」が使用する酒米は、全て兵庫県産中でも【山田錦】は、最高品質と評される兵庫県特A地区産のみ「米の酒は米の味」を基本理念に、最高品質の米で酒造りを行う蔵元であり続けます